

令和2年度自動車テストコース立地可能性調査業務仕様書

1 業務名

「令和2年度自動車テストコース立地可能性調査業務」

2 業務の目的

本県では、冷涼な気候や広大な空間を有する等、むつ小川原開発地区の特徴を生かした開発及び産業振興に繋がるプロジェクトの創出を目指し、調査検討を進めてきた。

近年、AI、IoT等の技術革新とともに、国において自動車の自動運転技術に関する研究開発、実証実験等の取組が行われており、これら研究開発、実証実験等に用するためのテストコースを新設する事例が各地で見られる。広大な空間を有し、積雪寒冷地であるむつ小川原開発地区の特性を生かすとともに、同地区における自動車関連産業の発展に資するものと考えられることから、自動車テストコースの誘致を検討することとし、同地区において実証実験を行う場合の優位性を情報収集していく。

本業務は、自動車テストコースの誘致を検討するに当たり、むつ小川原開発地区の特性を整理するとともに、今後、自動運転関連産業への県内企業の参入をはじめ、同地区の産業振興や立地促進に係る施策展開に向けた基礎資料とするものである。

3 業務内容

本業務は、以下の項目について調査等を行うものとする。

(1) テストコース及び自動運転に関する市場調査

テストコース及び自動運転に関する全国的な立地・実施動向並びに今後、成長が期待される技術分野等を整理する。

(2) テストコース新設に係るニーズの把握

既にテストコースを設置している企業やテストコースの新設を検討している企業等へのヒアリングまたはアンケートを通じて、テストコース新設へのニーズを整理する。

(3) むつ小川原開発地区の特性把握

むつ小川原開発地区の特性（気象条件等）をまとめ、テストコースの設置場所としての立地特性を整理する。

(4) 県内企業等有する技術分野の整理

県内の企業や研究機関が得意とする技術分野（積雪寒冷対応等）を整理し、今後、国内外の自動車メーカーや部品サプライヤーの進出に向けた優位性をまとめる。

(5) 上記(1)～(4)の他、発注者、受託者が必要と認める業務

4 業務の遂行

委託業務の遂行に当たっては、業務開始前及び業務完了時等において、担当課と十分な打ち合わせを行うこと。また、進捗状況の確認のため、県の求めに応じて中間報告を実施すること。

5 成果品

本業務の成果品は、原則として青森県に帰属する。

(1) 報告書（A4版）：2部

(2) 電子媒体（CD-ROM等の記録媒体）：一式

なお、電子媒体に格納する電子ファイルは、Microsoft Word (*.docx又は*.doc) 形式又はAdobe PDF (*.pdf) 形式) とする。

6 納入場所

青森県エネルギー総合対策局 エネルギー開発振興課